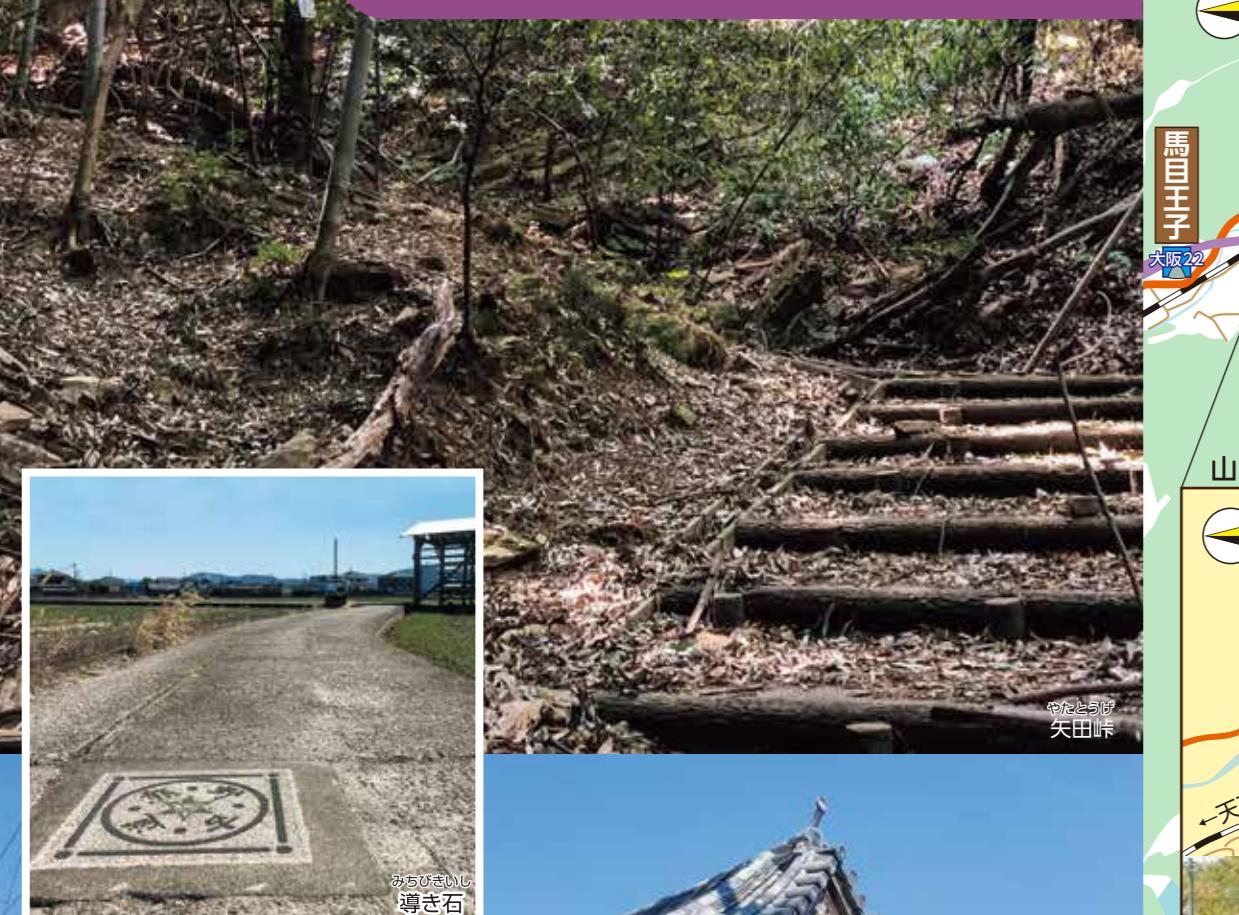


# くまのこどう 熊野古道を歩く

和歌山市周辺(馬目王子～祓戸王子)

熊野古道周辺文化財マップ



さくらじぞう

② 桜地蔵

大阪府阪南市山中溪には「信解品第四」を納めた、「入江宿除藏王」という行場があったとの記載が見られます。ここには老木の桜があったことから、桜地蔵経塚とも呼ばれていました。



りきしじんじゃほんでん

⑦ 力侍神社本殿、摂社八王子神社本殿

(県指定文化財建造物)

本殿・摂社ともほぼ同じ規模の一間社流造、こけら葺で、棟札により力侍神社は寛永11年(1634)、八王子神社は寛永元年(1624)に建てられたことがわかつています。

また、力侍神社は川辺王子社の候補地にもなっています(県指定文化財史跡)。



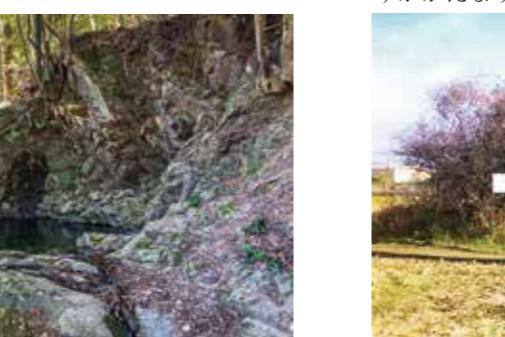
きゅうしょうややしき  
① 旧庄屋屋敷(田中家住宅)

築後150年以上といわれる田中家住宅は一部改修されていますが、広大な敷地には勇壮な構えの屋敷や土蔵、広い庭園等があるなど、宿場町の風情を現在に伝えています。



かすがじんじゃ  
③ 春日神社

境内には音無しの滝があり、「紀伊国名所図会」によると「枕草子」に記された音無しの滝とされています。また、葛城修験の行場にもなっています。



やまぐちはいじ  
④ 山口廃寺 (県指定史跡)

田園地帯の中に山口廃寺の塔心礎を現在も見ることができます。周辺からは奈良時代の瓦が出土しており、古代寺院が存在していたことがうかがえます。



うえのはいじ  
⑤ 上野廃寺 (国指定史跡)

寺院の創建は飛鳥時代(7世紀後半)で、その後10世紀後半まで存続した薬師寺式の伽藍配置をもつ古代寺院です。出土した瓦は、法隆寺で用いられた瓦の影響を受けたものです。



ひらまつ けじゅうたく  
⑧ 平松家住宅 (国登録有形文化財)

安政3年(1856)に建てられた入母屋造本瓦葺の大規模な構えの農家で、主屋と長屋門が登録文化財に指定されています。重厚な長屋門は和歌山城下から移築したと伝わっています。



発行 和歌山市 文化振興課

〒640-8511 和歌山市七番丁23番地

TEL073-435-1194 FAX073-435-1294

令和6(2024)年3月発行

印刷:株式会社ウイング